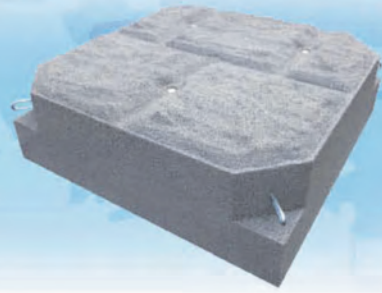


2-1 ロックル

ロックル 大型張ブロック



特長

従来の間知ブロック張りは、緩勾配（1：1.0～1：2.0）施工時に胴込コンクリート打設が困難で、ブロックが小型のため施工日数が長期間必要でした。

ロックルは、**ブロック自体が控え厚 35cm で胴込コンクリートが必要なく、1.0㎡ / 個と大型なため大幅に工期を短縮**することができます。

また、即時脱型粗面コンクリートのため、**明度が 5 以下となり周辺環境と馴染みます。**

規格は 350 型（全体厚 35cm）と 385 型（板厚 35cm）と 235 型（板厚 20cm）の 3 タイプから選択いただけます。

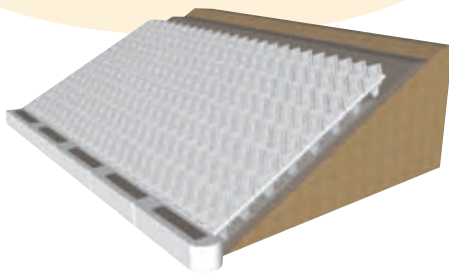
護岸ブロック緩勾配規格選定一覧表
ロックル

規 格	コンクリート種類	ブロック質量 (kg)	対応流速 (m/s)	明度低減	法面の植生	水際の植生	背後地透水性
235型	粗面コンクリート	431	5.7	○	×	△	×
	7号ポーラス	410	5.6	○	△	○	○
350型	粗面コンクリート	664	6.8	○	×	△	×
	7号ポーラス	632	6.8	○	△	○	○
385型	粗面コンクリート	732	7.2	○	×	△	×
	7号ポーラス	696	7.1	○	△	○	○

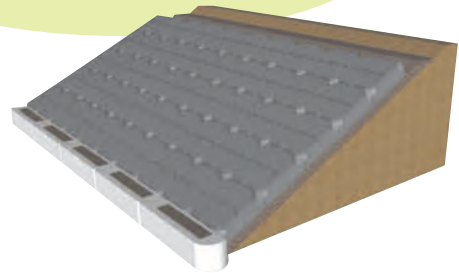
×：期待できない
△：ある程度期待できる
○：期待できる

設計対応流速は護岸勾配1:2.0・設計水深5.0mでの計算値です。

間知ブロックの場合、
100㎡施工時：830～1000個使用
のところが・・・



ロックルの場合、
100㎡施工時：100個使用と
大幅に工期を短縮可能



製品明度

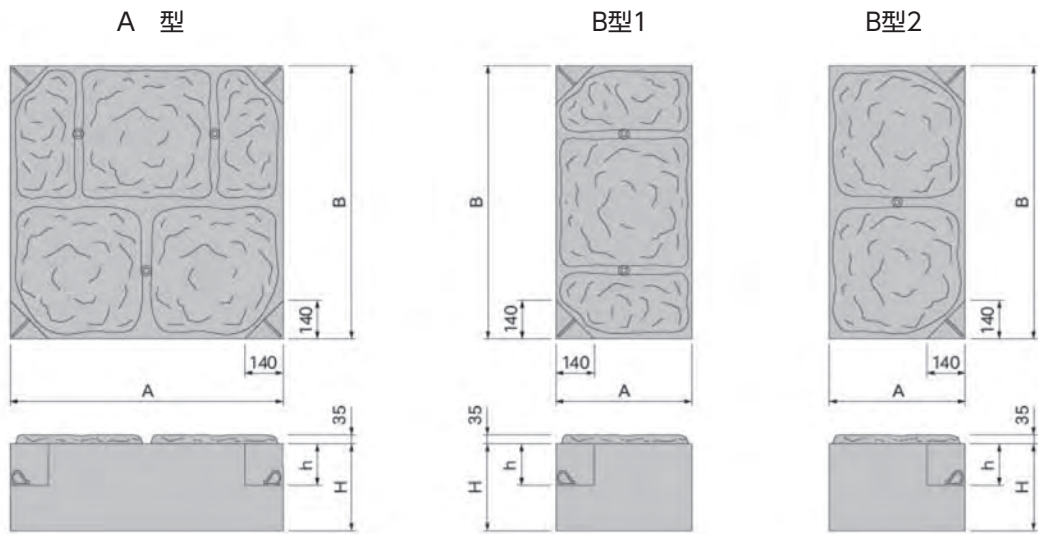
規 格	コンクリート	ポーラス
平均明度	5.5	5.0

製品テクスチャー

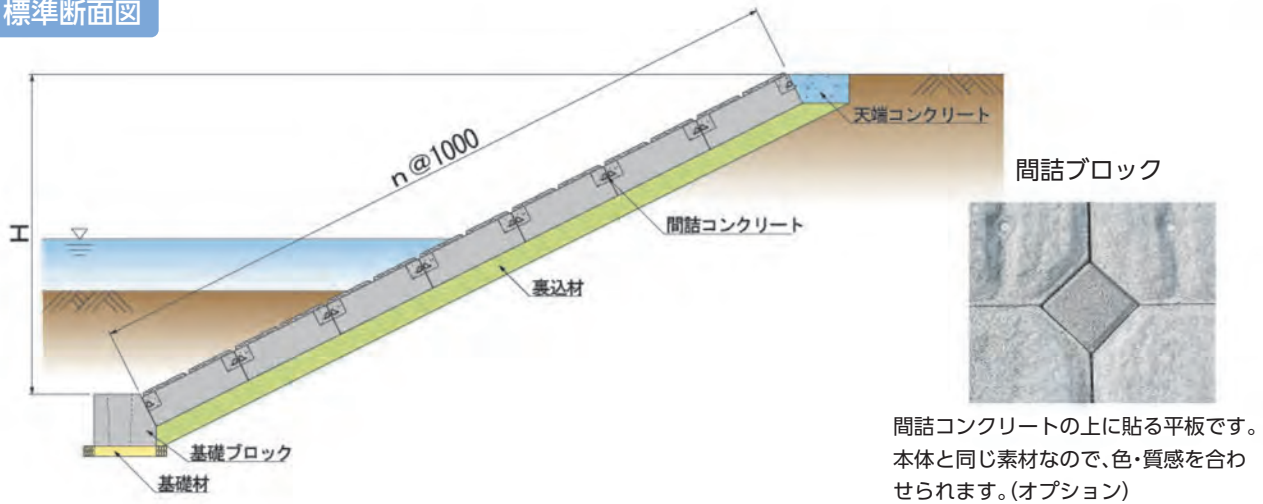
規 格	コンクリート	ポーラス
輝度の標準偏差	32	43

2-1 ロックル

単体図



標準断面図



間詰コンクリートの上に貼る平板です。本体と同じ素材なので、色・質感を合わせられます。(オプション)

呼び名	参考質量 (kg)	寸法 (mm)				間詰コンクリート量 (m ³ /個)	備考		
		A	B	h	H				
235型	コンクリート	A型	431	1000	1000	125	200	0.005	粗面コンクリート
		B1・B2型	213	497				0.002	
	表面ポーラス	A型	431	1000				0.005	粗面コンクリート 面部7号ポーラス
		B1・B2型	213	497				0.002	
	ポーラス	A型	410	1000				0.005	7号ポーラス
		B1・B2型	202	497				0.002	
350型	コンクリート	A型	664	1000	1000	150	315	0.006	粗面コンクリート
		B1・B2型	328	497				0.003	
	表面ポーラス	A型	664	1000				0.006	粗面コンクリート 面部7号ポーラス
		B1・B2型	328	497				0.003	
	ポーラス	A型	632	1000				0.006	7号ポーラス
		B1・B2型	312	497				0.003	
385型	コンクリート	A型	732	1000	1000	150	350	0.006	粗面コンクリート
		B1・B2型	365	497				0.003	
	表面ポーラス	A型	732	1000				0.006	粗面コンクリート 面部7号ポーラス
		B1・B2型	365	497				0.003	
	ポーラス	A型	696	1000				0.006	7号ポーラス
		B1・B2型	347	497				0.003	

施工手順



① 基礎コンクリート打設または基礎ブロックを敷設



② ブロック下が裏込材の場合、所定の暑さで敷き均し転圧する。



③ 吸出し防止材の場合たるみの無いよう敷設する。



④ ブロックは専用の吊り金具を確実に取り付ける。



⑤ ワイヤー長さを勾配に合わせて製品を据え付ける。



⑥ 製品配列



⑦ ブロックどうしを専用金具で連結する。



⑧ 連結部は間詰コンクリートを充填する。
間詰ブロックを使用する場合はこの上に貼る。

2-1 ロックル

施工例

河川・道路積

河川張

河川根固め

擁壁

カルバート

道路・一般

水路

その他

